

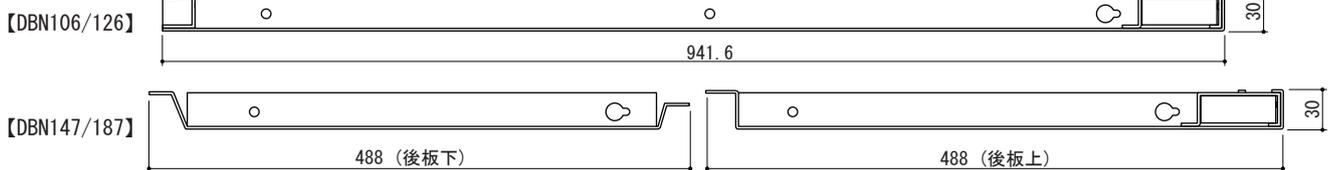
① 機種一覧表

品番	機種	床面積	容量	間口	奥行	床荷重強度
①	DBN-106M	0.6㎡(0.18坪)	約400ℓ	1000mm	600mm	2000N/㎡ (200kgf)
②	DBN-106P					
③	DBN-126M	0.74㎡(0.22坪)	約500ℓ	1230mm		
④	DBN-126P					
⑤	DBN-147M	1.02㎡(0.31坪)	約800ℓ	1460mm		
⑥	DBN-147P					
⑦	DBN-187M	1.27㎡(0.38坪)	約1000ℓ	1810mm		
⑧	DBN-187P					
⑨	DBN-106ML-2	1.18㎡(0.36坪)	約800ℓ	1962mm	600mm	
⑩	DBN-106PL-2					
⑪	DBN-126ML-2	1.45㎡(0.44坪)	約1000ℓ	2422mm		
⑫	DBN-126PL-2					
⑬	DBN-1012M	1.32㎡(0.40坪)	約900ℓ	2192mm		
⑭	DBN-1012P					

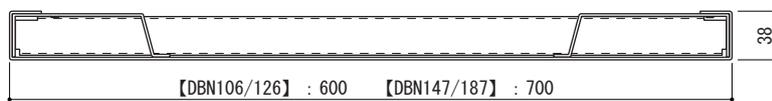
② 主要部材仕様

品番	主要部材	材質	呼び厚さ (mm)
①	後板	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 (JIS G 3302)	0.7
②	側板	〃	0.7
③	下補強・前・後・後B ・中ガイド	〃	1.0
④	下補強後カバー	〃	0.7
⑤	前パネル上・下	〃	0.7
⑥	扉	〃	0.7
⑦	メッシュ床	炭素鋼線材 亜鉛メッキ後PE皮膜	φ3.0+φ5.0
⑧	パネル床	ポリプロピレン+ポリエチレン(再生樹脂)	9.0

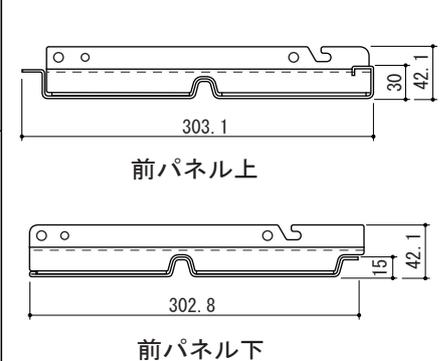
①後板 t=0.7



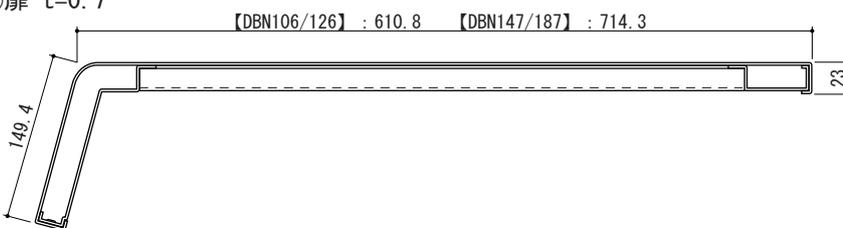
②側板 t=0.7



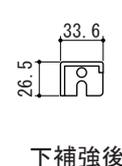
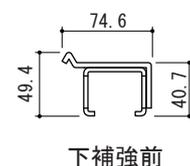
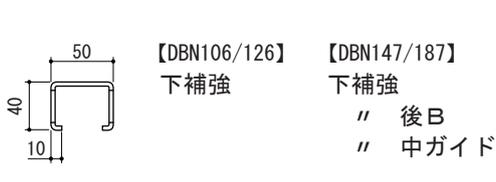
⑤前パネル上・下 t=0.7



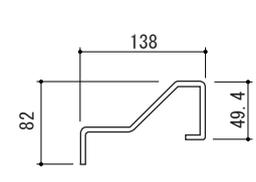
⑥扉 t=0.7

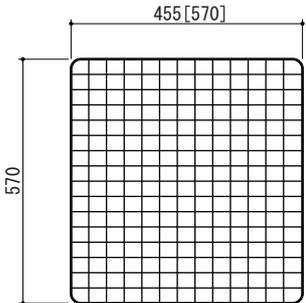
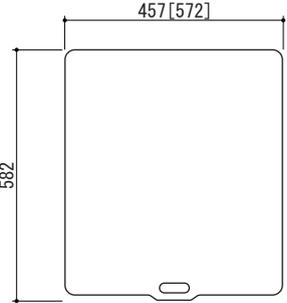


③下補強・前・後・後B・中ガイド t=1.0



④下補強後カバー t=0.7



<p>⑦メッシュ床 内枠φ3.0 外枠φ5.0</p>  <p>[]内は126・187用</p>	<p>⑧パネル床 t=9.0</p>  <p>[]内は126・187用</p>
--	--

③ その他の部品仕様

部 品 名	材 質	表 面 処 理 ・ 色
ボルト	冷間圧造用炭素鋼線材(SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート
ハンドル本体/レバー	アルミニウム合金押出型材(A6063)	陽極酸化皮膜
ラッチ部材	ステンレス(SUS304)	-----
ハンドルレバーカバー	POM樹脂(耐候グレード)	ミストグレー
ラッチ受板カバー		
扉ヒンジピンカバーLR		
側板カバー	AES樹脂	ミストグレー
ハンドルカバーLR		
ボルトキャップ		
ラッチ掛金カバー	PC/ASA樹脂	
連結ボルト受	ABS樹脂	プラチナライト
ガススプリング	-----	黒
側板ストッパーゴム	エチレンプロピレンゴム(EPDM)	黒
アジャスター	ボルト・ナット:冷間圧造用炭素鋼線材(SWRCH) 台座:SPCC	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート

④ 表面処理及び塗装

- 塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て化成処理をしております。
- 塗装は高耐塗料粉体塗料ポリエステル樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
- 膜厚及び塗装色は下表に示す通りです。

塗 装 部 品	膜 厚		塗 装 色 (マンセル番号)
	屋 外 面	屋 内 面	
下補強中・後	40μm以上	40μm以上	ミストグレー(N7)
後板	〃	〃	
側板	〃	〃	
下補強前	〃	〃	サンドベージュ(10YR 6/1)
前パネル	〃	〃	
扉	〃	〃	

⑤ 耐久性

◎塗装面

(1) 硬さ試験	硬度Hの鉛筆引っかき試験(JIS K 5600)に耐えること。
(2) 付着性試験	100/100基盤目試験(JIS S 1031)に耐えること。
(3) 耐おもり落下性試験	撃芯直径12.7mmに300mmの高さから500gのおもりを落とす耐おもり落下性試験(JIS K 5600)に耐えること。
(4) 耐塩水性試験	約20℃の3%の塩水に100時間浸す耐塩水性試験(JIS S 1031)に耐えること。
(5) 耐食性試験	5%の塩水噴霧試験法(JIS Z 2371)に500時間耐えること。
(6) 耐候性試験	サンシャインウェザーメーターによる促進暴露試験(JIS A 1415)で300時間の照射に耐えること。 または、キセノンランプ法による促進暴露試験(JIS K 5600)で300時間の照射に耐えること。

◎扉の可動

(7) 耐久性試験	扉(ヒンジ部)は、開閉繰返し性試験30,000回に耐えること。
-----------	---------------------------------